

「2022 年度前半を振り返って」(2022. 9. 18)

「まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時がくる。

今がその時である。」(ヨハネ 4:23)

今年度は上掲の御言葉を掲げ、年度目標を「霊と真理をもって礼拝する教会」とした。主に向かって賛美と感謝を捧げ、御言葉と祝福を戴いて喜び派遣される礼拝、そのような礼拝を捧げる教会が目標である。一人ひとりがそのことを自覚して臨んできたが、同時に、礼拝堂に直接来ることができない方が共に礼拝に参加できるようにと、ZOOM による礼拝参加のシステムを準備できた。10 月から本格的に運用したいので、該当する方は是非手を挙げ、参加してほしい。

一方、伝道では、今年度もコロナ禍、「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても」(Ⅱテモテ 4:2)このみ言葉に押し出されて、教会案内チラシの新聞折り込み、かまくら FM による教会 CM の放送を継続とした。しかし、ゴスペル賛美(夕)礼拝は感染状況を鑑み、中止とした。今後の諸行事も先行き不透明な部分があるが、とりあえず、10 月 15～16 日の高浪晋一先生による「賛美の集い」と「奨励」はいつものように感染対策をしっかりと実施する予定である。

会堂管理・営繕関係では、昨年度からの引継ぎ事業であった会堂東側整備工事が、6 月 24 日に完了した。これまでの黒いビニールが撤去され、コンクリートで頑強に整えられ、もうこれ以上傾くことはないと思う。併せて、会堂東側の 4 か所の雨樋が修理され、順調に雨水が流れている。また、会堂玄関前の広場が拡幅され、以前より駐車しやすくなった。さらに、9 月 14 日、教会駐車場が西側に 2.7 メートル押し広げる形で拡幅された。2～3 台多く駐車できるかと思う。汗を流してくれた方々に感謝！



宣教協力では、4 月の西多賀聖書バプテスト教会、7 月の男鹿教会、飯島教会に牧師を派遣した。また、8 月には丹羽長老が大曲教会で奨励奉仕をされた。会員異動では 3 名の兄弟を天に送った。淋しさは尽きないが、いつも礼拝では天のみ民として覚え、共に主を讃えたいと思う。

最後に、9 月 25 日礼拝後、第 1 回教会懇談会が開かれる。長老会からの提案(奉仕分担案、イブ礼拝、長座布団、スリッパなど)、教会員からの自由な発案などを共有したい。時間は 11 時 30 分から 1 時間ほどを予定している。是非、出席してほしい。